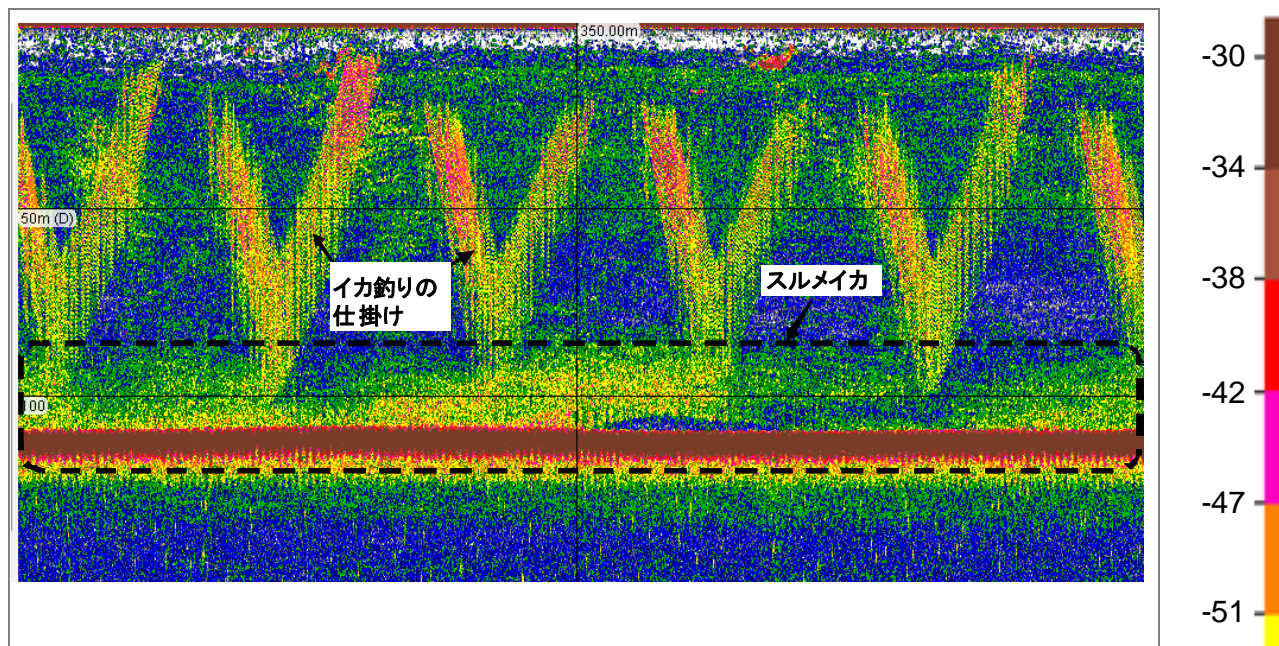


反応構成生物： スルメイカ (*Todarodes pacificus*)

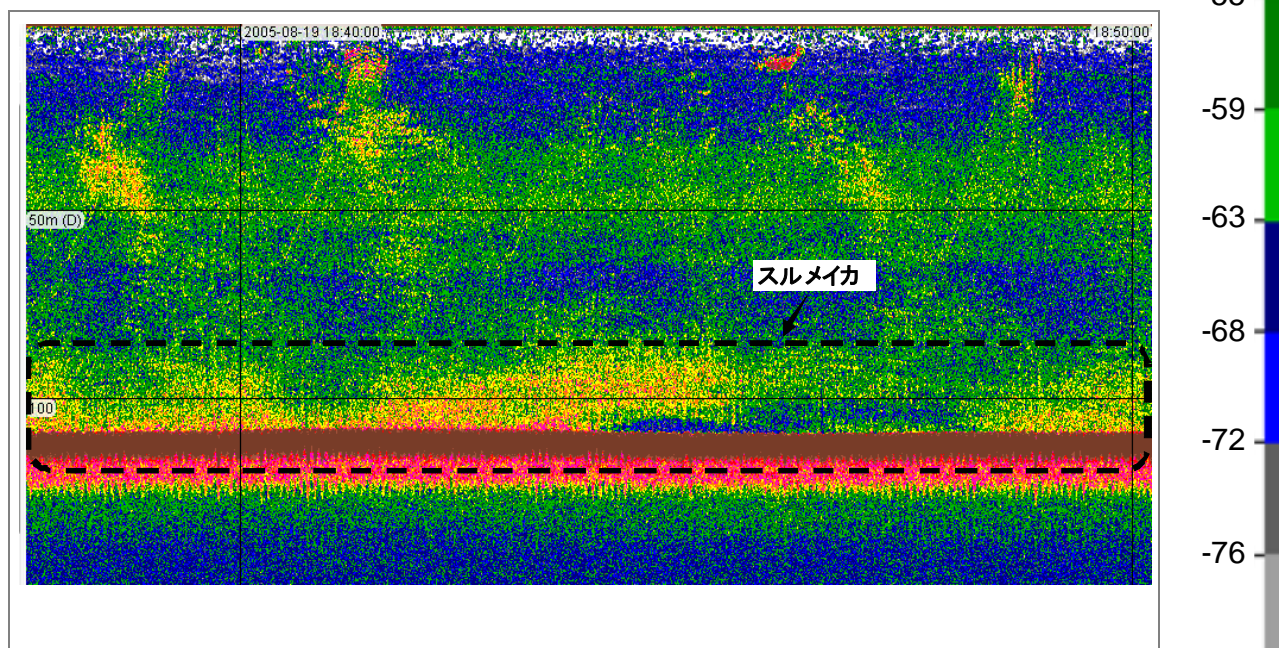
収録日時：2005年8月19日 (夜間 3:40 頃)

収録海域：太平洋, 北海道 奥尻島周辺海域

収録機種・周波数：KFC3000・38 kHz, 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 120 kHz

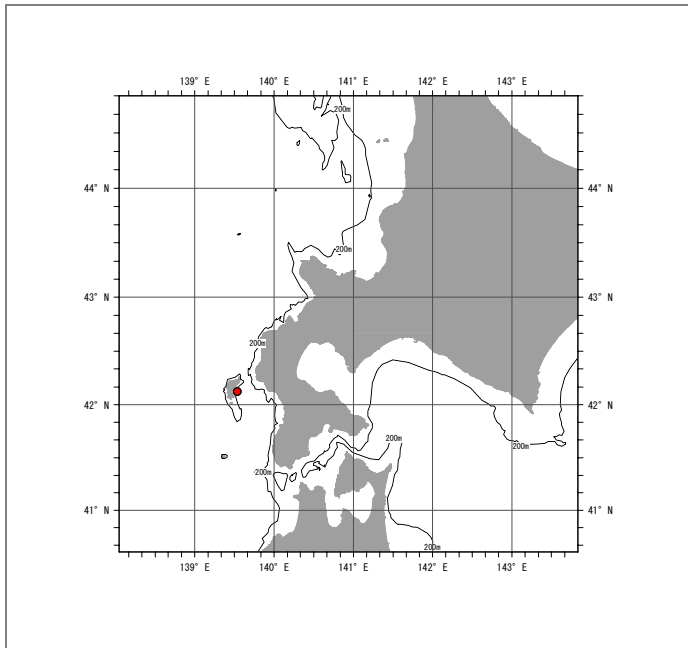
表示スケール： 縦 150 m／横 7 m (停船し, イカ釣りを実施しながら同地点で収録したエコーグラム)

グリッド間隔： 縦 50 m／横 5 m

表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター (安間洋樹)

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

集魚灯を用いてスルメイカを寄せ、釣りを行ってスルメイカを確認したこと。

サンプリング詳細情報・備考

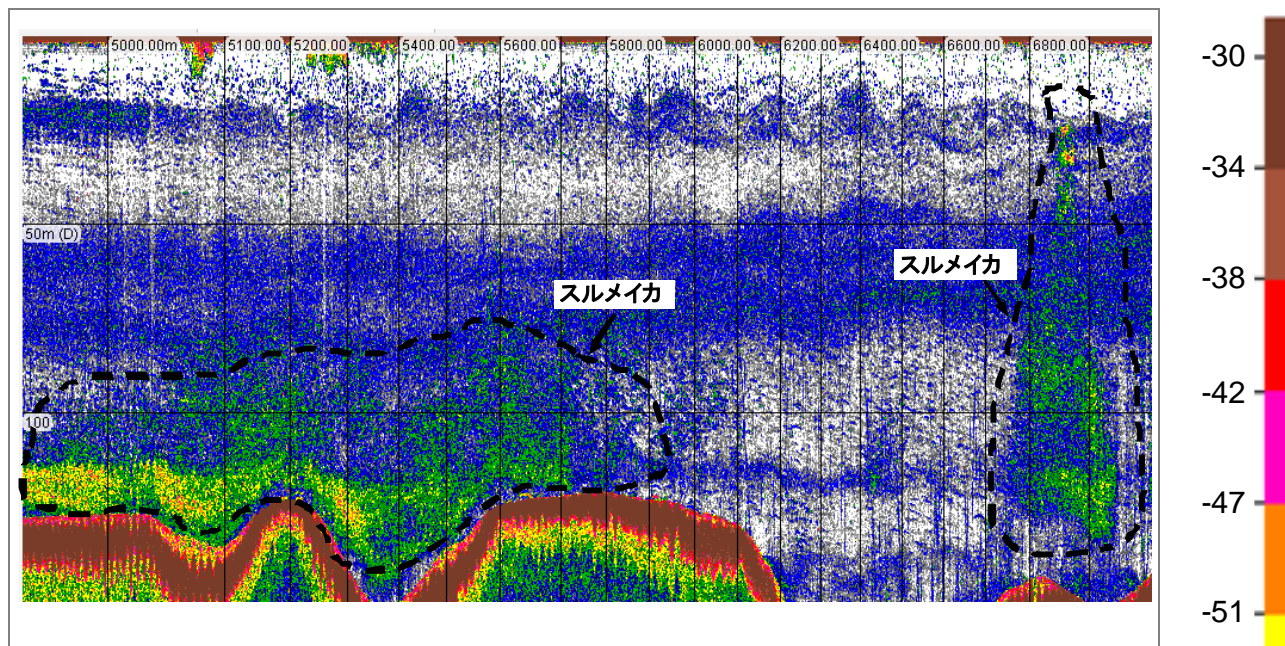
スルメイカの平均外套長： 200 mm

反応構成生物： スルメイカ (*Todarodes pacificus*)

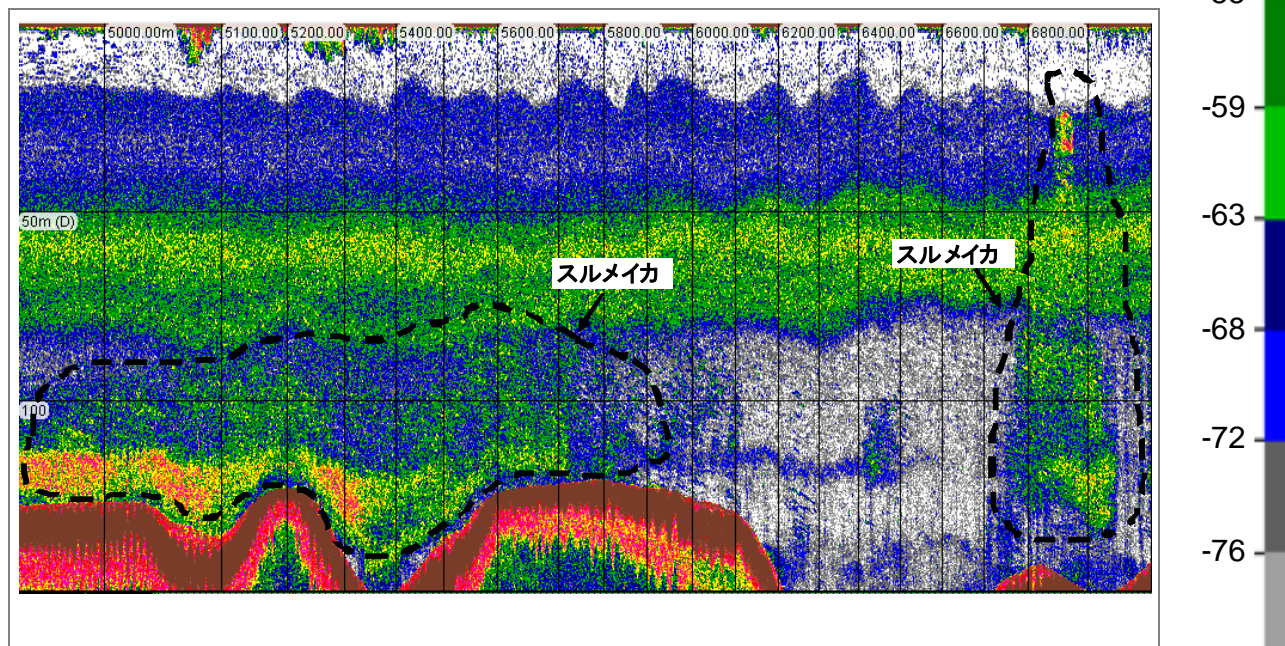
収録日時：2005年8月20日 (昼間 15:40 頃)

収録海域：太平洋, 北海道 奥尻島周辺海域

収録機種・周波数：KFC3000・38 kHz, 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 120 kHz

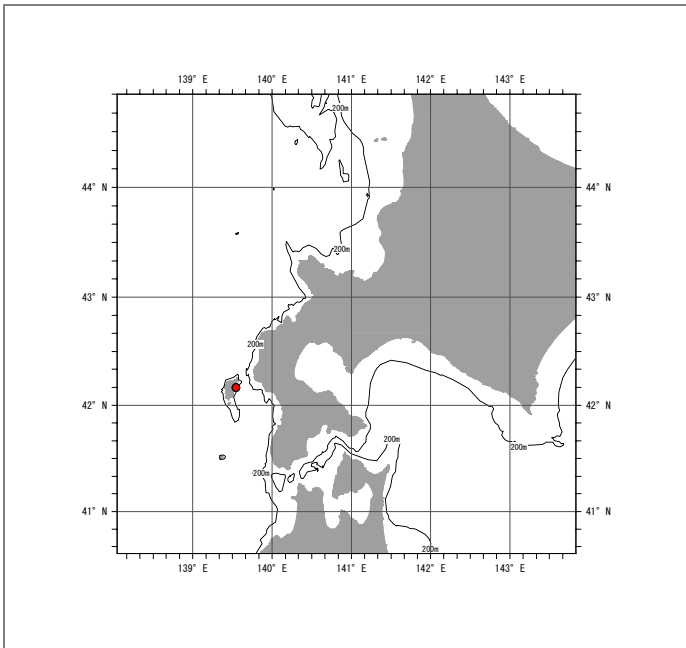
表示スケール： 縦 150 m / 横 2100 m

グリッド間隔： 縦 50 m / 横 100 m

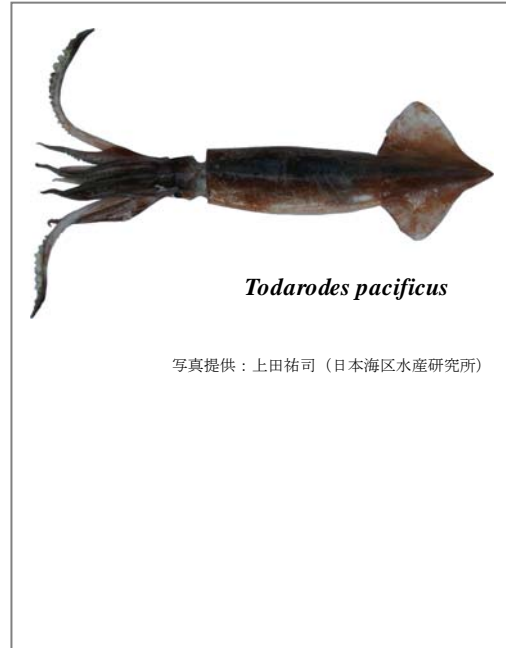
表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター (安間洋樹)

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

集魚灯を用いてスルメイカを寄せ、釣りを行ってスルメイカを確認した漁場の近くで確認された反応であること。

サンプリング詳細情報・備考